



2019年4月25日

各位

会社名 ユナイテッド株式会社
代表者名 代表取締役会長 CEO 早川 与規
(コード2497 東証マザーズ)

会社名 株式会社 博報堂DYホールディングス
代表者名 代表取締役社長 戸田 裕一
(コード2433 東証第一部)

2019年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年10月31日に公表した2019年3月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	26,900 ~ 29,100	10,000 ~ 11,000	—	—	—
今回修正予想 (B)	27,580	11,084	11,058	7,008	304.30
増減額 (B - A)	680 ~ △1,520	1,084 ~ 84	11,058	7,008	304.30
増減率 (%)	2.5% ~ △5.2%	10.8% ~ 0.8%	—	—	—
(ご参考) 前期通期実績 (2018年3月期)	14,444	1,648	1,626	849	36.94

2. 修正の理由

2018年10月31日にレンジ形式で公表した2019年3月期通期連結業績予想（売上高26,900～29,100百万円、営業利益10,000～11,000百万円）及び未定としておりました経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきまして、今般予想値を得ましたのでお知らせいたします。

2019年3月28日付「営業投資有価証券の売却に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、営業投資有価証券の売却を行ったことによる売上高及び営業利益を計上する見込みであること、本日公表した「連結子会社の異動を伴う株式譲渡及び特別損失の発生（見込み）に関するお知らせ」に記載のとおり、特別損失を計上する見込みであること（※）、また、これらを踏まえた繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額の計上額が見込めるようになったこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても予想値を得ることができたためです。

2019年3月期通期連結売上高及び連結営業利益につきましては、インベストメント事業において投資先である㈱メルカリの上場に伴う株式売却益を計上したこと等により、過去最高の連結売上高・営業利益を計上する見込みであり、売上高は前回予想の範囲内、営業利益は前回予想の上限を上回る見通しです。

2020年3月期は、2018年8月3日に公表した中期経営計画「UNITED 2.0」（以下、「中期経営計画」といいます。）における「集中期」と位置付けており、成長可能性の高い事業に対して積極的に経営資源を投下することで、2022年3月期中期経営計画最終年度における営業利益目標達成を目指してまいります。

※なお、本件による親会社株主に帰属する当期純利益への影響額は、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する当期純利益考慮後で△97百万円となる見込みです。

以上

■本リリースに関するお問い合わせ

ユナイテッド株式会社 IR担当

Tel: 03-6821-0008

E-mail: ir@united.jp